

理系第2問

一辺の長さが1の正方形ABCDを考える。3点P, Q, Rはそれぞれ辺AB, AD, CD上にあり, 3点A, P, Qおよび3点P, Q, Rはどちらも面積が $\frac{1}{3}$ の三角形の3頂点であるとする。 $\frac{DR}{AQ}$ の最大値, 最小値を求めよ。

AP = p, AQ = q, DC = r とおく。

$$\triangle APQ = \frac{1}{3} \text{ より } pq = \frac{2}{3} \dots \textcircled{1}$$

$$\text{台形 PBCR} + \triangle DQR = \frac{1}{3} \text{ より } qr + p = \frac{4}{3} \dots \textcircled{2}$$

$$\text{よって } p = \frac{4}{3} - qr \dots \textcircled{3}$$

このとき, $\triangle APQ$ の面積条件から $\frac{2}{3} \leq p \leq 1, \frac{2}{3} \leq q \leq 1$

③から $r = \frac{1}{q} \left(\frac{4}{3} - p \right)$ で, 一方①より $\frac{1}{q} = \frac{3}{2}p \dots \textcircled{4}$ だから,

$$r = \frac{3}{2}p \left(\frac{4}{3} - p \right) = -\frac{3}{2} \left(p - \frac{2}{3} \right)^2 + \frac{2}{3}$$

これと上の p の範囲から $\frac{1}{6} \leq r \leq \frac{2}{3}$, したがって R は確かに辺上 CD にある。

$$f(p) = \frac{r}{q} = \frac{1}{q^2} \left(\frac{4}{3} - p \right) \text{ に } \textcircled{4} \text{ を用いて } t = 3p^2 - \frac{9}{4}p^3$$

$f'(p) = 6p - \frac{27}{4}p^2 = 0$ から $p = 0, \frac{8}{9}$, これと増減表(略)から, $\frac{2}{3} \leq p \leq 1$ の範囲

では $p = \frac{8}{9}$ のとき極大かつ最大で, 最大値は $f\left(\frac{8}{9}\right) = \frac{64}{81}$

最小値は $f\left(\frac{2}{3}\right)$ または $f(1)$ であるが, それぞれ $\frac{2}{3}, \frac{3}{4}$ なので, 最小値は

$$f\left(\frac{2}{3}\right) = \frac{2}{3}$$

◆コメント◆

文系第1問と同内容ですが, 誘導がありません。しかし, ぶっちゃけ, 余計な誘導がない分, こちらのほうが自然な流れに沿って解きやすいです。誘導がないのは, 理系の人の手が止まることのないように, という配慮だったのかもしれませんが, r の範囲を求めるのは, R が辺 CD から吹っ飛ぶことはないよ, というのを示すためです(下線部)。このあたりで, 微妙に点が分かれるかもしれません。